



平成 18 年 3 月 17 日

各 位

会社名 大豊建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田 興太郎
 (コード番号 1822 東証第1部)
 問合せ先 管理本部 石亀 昭夫
 取締役総務部長
 (TEL 03- 3297- 7000)

業績予想の修正および特別損益の発生に関するお知らせ

平成 17 年 11 月 25 日に公表した平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

業績予想の修正

1. 平成 18 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	155,000	2,500	900
今回修正予想 (B)	170,000	2,800	1,300
増減額 (B - A)	15,000	300	400
増減率 (%)	9.7%	12.0%	44.4%
前期実績 (平成 17 年 3 月期)	166,874	1,400	1,252

(2) 個別業績予想数値

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	115,000	1,500	400
今回修正予想 (B)	129,000	700	250
増減額 (B - A)	14,000	800	150
増減率 (%)	12.2%	53.3%	37.5%
前期実績 (平成 17 年 3 月期)	115,967	1,296	1,049

なお、配当金につきましては、1 株当たり 6 円を予定しております。

2. 修正の理由

連結業績につきましては、売上高は土木工事・建築工事ともに増加し前回予想を 150 億円上回る見込ですが、売上総利益の減少等により経常利益は 3 億円の増加にとどまる見込です。また、特別利益 13 億円、特別損失 11.7 億円を計上すること等により、当期純利益は前回予想より 4 億円増加する見込です。

個別業績につきましても、売上高は土木工事・建築工事ともに増加し前回予想を 140 億円上回る見込ですが、売上総利益の減少により経常利益は 8.0 億円減少する見込です。また連結業績と同様に特別損益の計上はありますが、経常利益の減少の影響が大きく、当期純利益は前回予想より 1.5 億円減少する見込です。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

特別損益の計上

固定資産の減損に係る会計基準「適用に伴い、当社および当社グループが保有する事業用固定資産を対象に減損処理を行った結果、減損損失として個別で 7.6 億円、連結で 7.7 億円、取引先に対する貸倒引当金 3 億円 (個別・連結同額) 等を特別損失に計上する予定です。一方、特別利益として投資有価証券売却益 7.7 億円 (個別・連結同額)、固定資産売却益 3.7 億円 (個別・連結同額) 等を特別利益に計上する予定です。

以 上